

目次

Part I CASBEE戸建 - 新築とは	1
1. CASBEE戸建 - 新築の概要.....	3
1.1 CASBEEとは	
1.2 CASBEE戸建 - 新築のねらい	
1.3 何を評価するのか	
1.3.1 戸建住宅の総合的な環境性能	
1.3.2 戸建住宅の低炭素化性能	
1.4 評価の基本姿勢	
1.5 評価結果を公開する場合の注意	
1.6 評価結果の信頼性を高める制度	
1.7 今後の予定	
2. CASBEE戸建 - 新築の評価のしくみ	6
2.1 評価の基本構造	
2.1.1 総合的な環境性能評価	
2.1.2 低炭素化性能評価	
2.2 評価項目	
2.2.1 採点基準の考え方	
2.2.2 評価項目の構成	
2.3 重み付けの考え方	
2.4 既存制度などとの関係	
3. CASBEE戸建 - 新築の使い方	17
3.1 誰が使うのか	
3.2 どのように活用するのか	
3.3 評価結果を示す際のルール	
Part II CASBEE戸建 - 新築の評価方法	19
1. 評価の基本的な考え方	21
2. 評価方法	22
2.1 評価の手順	
2.2 ソフトウェアを利用した評価の方法	
(1) ソフトウェアの全体像	
(2) 「メイン」シートの入力	
(3) 「配慮」シートの入力	
(4) 「採点 Q1」～「採点 LR3」シートの入力	
(5) 「電気排出係数」シートの確認と入力	
(6) 「CO2 独自計算」シートの入力	

(7) 「結果」シートの見方	
(8) 「スコア」シートの見方	
(9) 「CO ₂ 計算」シートについて	
2.3 手計算による評価の方法 ～CASBEE戸建 - 新築の採点方法～	
3. 採点基準	42
3.1 採点基準の一覧	
3.2 採点基準の見方	
3.3 採点基準	
Q _H 1 室内環境を快適・健康・安心にする	46
Q _H 2 長く使い続ける	64
Q _H 3 まちなみ・生態系を豊かにする	84
LR _H 1 エネルギーと水を大切に使う	100
LR _H 2 資源を大切に使いゴミを減らす	132
LR _H 3 地球・地域・周辺環境に配慮する	154
3.4 改定箇所一覧	
Part III CASBEE戸建 - 新築の解説・資料	179
1. CASBEE戸建 - 新築の解説	181
1.1 サステナビリティ推進のための方策	
1.2 CASBEEの全体像とCASBEE戸建 - 新築の位置づけ	
1.3 CASBEE開発の背景	
(1) 環境性能評価の歴史的展望	
(2) 環境効率 (エコ・エフィシエンシー) から BEE (建築物の環境効率) へ	
1.4 CASBEE戸建 - 新築による評価のしくみ	
(1) 2つの評価分野: Q _H とL _H	
(2) CASBEE戸建 - 新築の評価対象	
(3) 環境効率 (BEE _H) を利用した環境ラベリング	
1.5 CASBEE戸建 - 新築による評価範囲の基本的な考え方	
1.6 CASBEE戸建 - 新築の活用方法	
2. ライフサイクル CO ₂ について	189
2.1 ライフサイクル CO ₂ とは	
2.2 CASBEE戸建 - 新築におけるライフサイクル CO ₂ 評価の基本的考え方	
2.3 「戸建標準計算」の評価方法	
(1) 全体概要	
(2) 「建設」「修繕・更新・解体」のCO ₂ 排出量	
(3) 「居住」のCO ₂ 排出量	
(4) ライフサイクル CO ₂ 排出量とスコアへの換算方法	
(5) 評価ソフトの「CO ₂ 計算」「CO ₂ データ」シート	
2.4 評価方法に関する補足	

目次3

(1) 「建設」「修繕・更新・解体」の計算条件	
(2) 「居住」の計算条件	
2.5 ライフサイクル CO ₂ (温暖化影響チャート)	
(1) ライフサイクル CO ₂ (温暖化影響チャート) の概要	
(2) ライフサイクル CO ₂ の「戸建標準計算」と「戸建独自計算」	
(3) オンサイト手法を適用した場合の CO ₂ 排出量の算定の考え方	
(4) オフサイト手法を適用した場合の CO ₂ 排出量の算定の考え方	
(5) 「戸建独自計算」の入力方法	
2.6 注意点	
3. 参考情報	210
3.1 参考情報一覧	
3.2 評価のための参考資料	
(参考資料1) 「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準」の別表第1	
(参考資料2) 「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準」の別表第2	
(参考資料3) 環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (平成22年2月5日一部変更閣議決定) より抜粋	
(参考資料4) ライフサイクル CO ₂ 評価のための「標準モデル住宅」	
4. ケーススタディ結果	239
あとがき	292
研究体制	294